

SAS対策ゼミ

運転者の健康読み解く

協協
トト
岡全

【岡山】岡山県トラック協会(遠藤俊夫会長)は7月25日、「運輸ヘルスケアナビシステム」の活用方法と睡眠時無呼吸症候群(SAS)対策をテーマとしたセミナーを全日本トラック

協会と共催した。主催者を代表して全ト協の担当者があいさつした後、NPO(非営利組織)法人ヘルスケアネットワーク(OCHIS)の黒田悦子保健師が「定期健康診断

のフォローアップ」をテーマに講演。運輸ヘルスケアナビシステムを活用して定期健診の結果からドライバーの健康を読み解く方法を解説した。

また、OCHISの作本貞子副理事長がトラック運送事業におけるSAS対策の基礎や運用方法などを説明した。
(江藤和博)